

こもれび学級

自立活動

相互理解を育む集団活動
「自分のため 周りの人のため」

日時 令和元年9月13日(金) 1次公開
場所 こもれび学級3組
児童 こもれび学級 7名(1年生1名・4年生2名・5年生4名)
授業者 古田 尚貴(T1) 森 愛(T2)

1 題材について・児童の実態

(1) 題材について

自立活動においては、児童の実態に即した小集団活動を行っている。さらに今年度は、たてわりの集団で活動することにより、「縦のつながり」「学級としての1つの集団」といった集団の中の一人である自分が意識できるようなグループ編成を行っている。児童については、他学年と学習することにより、上級生から下級生への譲り合いや言葉かけ、それをお手本として行動する下級生の姿などが見られる場面があった。しかし、自分が楽しめればそれで良いとするような考え方や、やりたいこととやりたくないことで態度が変わってしまう自分本位な行動が見られる場面もある。

本題材は、自分たちの生活の中には周りの人と活動することが多くあることに気付いたり、周りの人と一緒に活動することの意味について考えたりしていく。

本時では、前時までの活動を踏まえた上で自分勝手な考えや行動をすることで、周りがどう感じるのかを考えていく。また、企画を準備してきた児童会の児童の気持ちを考えることで、高学年は児童会の必要性、低学年はその活動に隠された思いに気付かせたい。児童会の活動の場面を設定し、そのことについて考えることで、第三者的に俯瞰して気持ちを見つめたり、相手の気持ちを考えたりする。次時では、自分たちの学校生活を振り返り、目標を設定する。そして、よりよく生活するためにどのようなことが必要なのか、それぞれの児童に意識付けをしていきたい。

低学年から高学年までの小集団のため、「低学年はどう感じるのか」「高学年は何を思って活動しているのか」など、たてわりでの集団を生かした学びにしていきたい。

(2) 指導計画

時数	学習内容	学習のねらい
1	「周りの人のために活動していることを見つけよう」	・友達や家族のためにどのような活動や手伝いをしているかを知ることができる。
2	「なぜ、周りの人と一緒に頑張るの？」	・周りの人と一緒に活動することの意味を知ることができる。
3 本時	「自分と周りの人の気持ちを考えよう。」	・自分と周りの人、それぞれの気持ちを考えることができる。
4	「周りの人のためにどんなことができるだろう」	・周りの人と一緒に活動する時に自分は何ができるかを考え、目標を立てる。

(3) 児童の実態

情緒学級は主に情緒面に課題がある児童(自閉症スペクトラム・ADHDなど)が中心となっているが、実態は多岐にわたっている。

今年度、小集団活動を3つのたてわりのグループに分け、活動を行っている。①グループは、1年生1名、4年生2名、5年生4名の児童で学習を進めている。「人との関わりが苦手」「我慢することが苦手」「気持ちのコントロールがうまくできない」「自分の気持ちを伝えることが苦手」「落ち着いて話を聞くことができない」などの実態がある。できないことがあると途中で投げ出してしまったり、自分の思い通りにならないと不機嫌になったり、自分のやりたいことばかり優先してしまったりするなど、感情をコントロールできない児童が多い。小集団活動などでの学習を通して、仲良く遊ぶために大切な事を学んだり、相手の気持ちを考えて行動することを学んだりしているが、まだ課題は多く残っている。このような現状をふまえ、こもれび学級では、少人数指導、小集団活動、学級支援の学習形態で、これらの課題解決のための支援を行っている。

2 研究との関わり

本校の研究主題「学び合いを通して自分のよさに気づき、よりよく生きようとする子供の育成」には障がいのあるなしに関わらず、「一人一人の違いを受け入れ尊重することの大切さ」を理解し、その心を育てていきたいという願いが込められている。

この研究主題を受けて、本学級では、自己肯定感を育みながら、自己認知力・他者理解力・コミュニケーション力を高め、児童が互いに成長し合える基盤を作っていきたいと考える。

本学級の児童は、障がいの程度や育ってきた環境などにより、社会性の獲得に何らかの困難さを抱えており、集団生活の中で自然に社会的スキルを獲得することができないことが多い。このことの改善のためには、必要な社会的スキルを年齢に応じて積極的に学習する必要があることから、小集団活動や個別の指導場面でソーシャルスキル獲得のための支援のあり方や方法を研究し実践している。

以上のような児童の実態を受けて、課題である「コミュニケーション能力」と「自己統制（セルフコントロール）力」の向上のための支援を計画的に行っていきたいと考えている。

*** 自立活動で学習する内容と道徳的实践力との関わり**

① <u>コミュニケーションの基本である「あいさつ」に関すること</u> (あいさつの言葉、表情、態度、場面や人に応じたあいさつ、など) 【道徳の内容項目B人との関わりに関すること（礼儀）に関連】
② <u>「自己認知」に関すること</u> (自分の体や生活を振り返る、自分の体のケアの仕方、自己紹介の仕方、自分の好きなこと、自分のよさをみつける、自分のことを伝える、など) 【道徳の内容項目A自分自身に関すること（節度・節制）（個性の伸長）に関連】
③ <u>「相互理解のための言葉・表現」に関すること</u> (ふわっと言葉とちくっと言葉、アサーティブな表現、自分の気持ちを伝える言い方、気持ちよい言葉遣い、高学年らしい言葉遣い) 【道徳内容項目B人との関わりに関すること（親切・思いやり）（友情・信頼）（礼儀）に関連】
④ <u>「相互理解のための気持ち認知」に関すること</u> (いろいろな気持ち、表情に表れる気持ち、隠れている気持ち、気持ちと行動、前向きな気持ち、など) 【道徳内容項目A自分自身に関すること（正直・誠実）に関連】 【道徳内容項目B人との関わりに関すること（親切・思いやり）に関連】
⑤ <u>「セルフコントロール／セルフマネジメント」に関すること</u> (ルールを守る・我慢する必要性、怒りを抑える方法、感情に対する対処方法、チャレンジすることの大切さ、自分を客観的に把握する、自己受容、など) 【道徳内容項目A自分自身に関すること（善悪の判断、自律、自由と責任）（正直・誠実）に関連】
⑥ <u>「相手を大切にしたいコミュニケーション」に関すること</u> (伝え方、聞き方、助けの求め方、協力の仕方、質問の仕方、提案の仕方、頼み方・断り方、褒め方、配慮の仕方、共感することなど) 【道徳内容項目B人との関わりに関すること（親切・思いやり）（友情・信頼）（礼儀）に関連】

3 本時の学習

(1) 本時の目標

・自分と周りの人の気持ちを考える。

【自立活動内容区分3人間関係の形成

【道徳の内容項目と関連 内容項目C

項目(2)他者の意図や感情の理解】

集団や社会との関わりに関すること（勤労・公共の精神）に関連】

(2) 本時の個別目標と必要な支援

指導・支援（評価）



(3) 本時の展開 (3/4)

	児童の学習活動	教師の関わり	●支援の工夫 □評価
導入 8分	<p>1 ウォーミングアップ（プレールーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビニールバレー <p>2 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の仕方を確認する。 ・ 前時までの活動を掲示物などを使って確認する。 ・ 学校の場面で考えることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 落ち着かない児童には、学習に向かえるよう気持ちの切り替えを促す。
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自分, 周りの人の気持ちを考えよう。 </div>		
	<p>3 本時の学習のめあてを知る。</p> <p>4 本時の活動内容を知る。</p> <p>5 個人学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートにそれぞれの立場の人の考えを記入する。 <p>6 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えを発表する。 ・ 自分はどうかを振り返る。 <p>7 ペア交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ふりかえりメーターについて交流をする。 <p>8 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えを発表する。 <p>9 まとめ</p> <p>自分・相手のことを考える。 ・ 自分のことだけ考えない。</p> <p>↓イライラ</p> <p>周りの人・いやな思い ・ 楽しめない</p> <p>児童会・みんなのため ・ 楽しんでもらうため</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習に見通しをもたせる。 ・ ワークシートを配付し、書き方を説明する。 ・ 「A君の気持ち」「周りの人の気持ち」「児童会の人の気持ち」に分けて、考えを発表させる。 ・ ふりかえりメーターの説明をする。 ・ 交流の仕方を確認する。 ①ジャンケンで順番を決める。 ②自分がつけたメーターの数値を理由をつけて発表する。 ③相手の発表に対して、感想を一言伝える。（4・5年生） ④交代をして交流。 ・ 本時の学習をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校生活の題材を提示する。 ● ワークシートの記入で困っている児童にアドバイスをする。 ● 1年生は、みんなでやる活動に参加する時の気持ちを考える。 □ 自分の気持ち, 周りの人の気持ちを考えることができたか。 [ワークシート] ● 話している相手の方を見てうなずくなど、反応しながら聞くように言葉かけをする。 ● 自分の考えを伝える機会を増やす。 □ 自分の考えを友達に伝えることができたか。[交流]
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <みんなでやる活動> 周りのことを考えて活動できると、みんなが楽しい。 </div>			

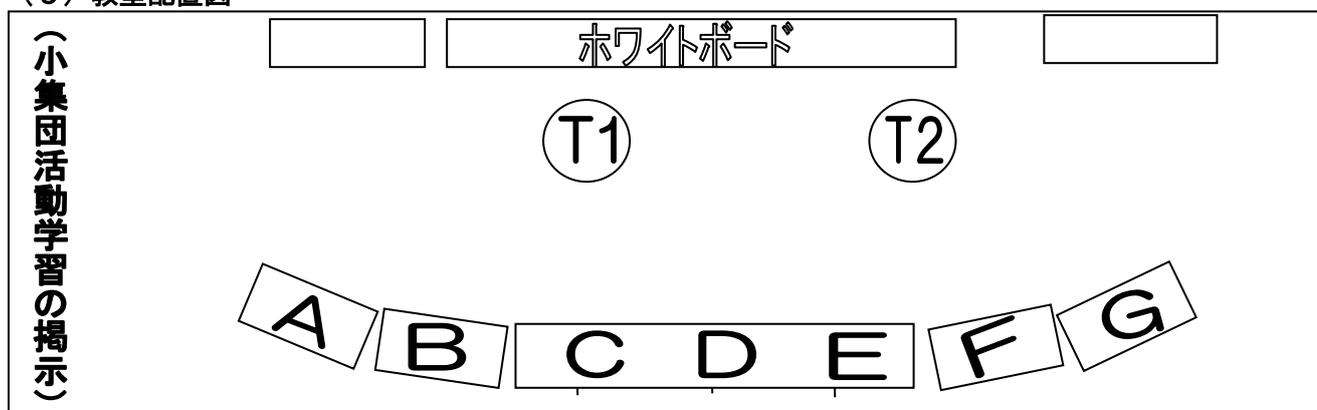
まとめ 7分	10 本時の活動について、振り返りシートに記入する。 ・発表する。		<ul style="list-style-type: none"> ●次時で目標を立てることを伝え、学習の見通しをもたせる。 ●思いつかない児童については、今回の学習でわかったことや気付いたことなどを書くよう、言葉のヒントを与える。
	11 次時の見通しをもつ。	・次時の内容を知らせる。	<input type="checkbox"/> みんなと活動する時の自分、周りの人の気持ちについて理解を深めることができた。 [振り返りシート]

*主に、「教師の関わり」はT1, 「支援の工夫」についてはT2の動きや役割について記載した。

(4) 本時の評価

- ・自分と周りの人の気持ちを考えることができたか。

(5) 教室配置図



(6) 板書計画

めあて 自分，周りの人の気持ちを考えよう。

4年生のB君

1年生のA君

周りの4年生

児童会

自分 ・相手のことを考える。 ・自分のことだけ考えない。

↓イライラ

周りの人 ・いやな思い ・楽しめない **児童会** ・みんなのため ・楽しんでもらうため

まとめ <みんなでやる活動>
周りのことを考えて活動できると、みんなが楽しい。

